

令和8年度

第1回銚子ものがたり講座

「海上系千葉氏」について

～戦国期に活躍した胤富・邦胤を中心に～

講師：外山 信司氏

(千葉市立郷土博物館総括主任研究員)

11月22日

13時30分～15時

銚子地域を本拠とする海上氏は、千葉常重の弟・常衡^{つねひら}に始まる。常重は900年前の大治元年(1126)に千葉のまちを開いた人物である。その後、東胤頼の孫・胤方が海上氏を称し、東氏の嫡流が美濃国郡上(岐阜県)へ移ると、海上氏は東総地方で最も有力な勢力となった。

戦国期、千葉氏当主であった胤富は、「海上九郎」を称し、森山城(香取市)を居城としていた。その後、本佐倉城(酒々井町・佐倉市)の城主となり「掉尾の雄」を振るって活躍した。胤富と子・邦胤は「海上系千葉氏」ともいふべき存在で、これを支えたのが海上氏・石毛氏・原氏などの「森山衆」であった。

本講座では、海上氏の流れを概観し、「海上系千葉氏」の登場の経緯を考える。さらに、森山城の原氏に伝わった「原文書」から海上一族の在り方や海上氏らに支えられた胤富の支配について探ってみたい。

会場：銚子市役所 市民ホール

(銚子市若宮町1-1 銚子市役所議会棟1階)

定員：60名(事前申込制)

申し込み方法：申し込みフォーム、電話

申し込み期限：11月18日(水)まで

申し込みフォーム



<https://logoform.jp/f/glCyc>

主催：銚子資産活用協議会

事務局：銚子市社会教育課文化財・ジオパーク室

銚子市八木町1777-1 銚子市ジオパーク・芸術センター

TEL0479-21-6662 mail bunka@city.chohi.lg.jp



令和8年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)



銚子市指定史跡
中島城跡(本丸)